



市制施行50周年記念事業

布田 恵美



問 コロナ禍で周年記念行事が中止や縮小で進む中、50周年として何かしら後世や子どもたちにも残せるもの、例えばモニユメント設置の計画はないのか。

市長 今後、子どもたちを中心にした事業ができないかどうか、記念式典を挟んで後半も含めて検討していきます。

駅前広場には時計設置を

問 JR岩沼駅舎東口頭上には壁時計が設置されているが、長期間停止したままである。通勤通学、市民やよそからいらっしやる方の利便性向上にも正しく時を刻む時計は欠かせぬものだと思う。この間、担当課からJR側に確認していただくも、故障解消にはつながらず現在に至る。岩沼市の玄関口であるJR岩沼駅前広場に時計を設置してはどうか。

市長 時計も確かに必要だとは思いますが、今皆さんも時計のみならず自分で時間を管理し、スマホで時刻を見えています。外の時計はどうなのかなという思いであり、

具体的な考えは持っていません。

問 駅前には公共の場であり、通学の小学生や通勤の外国の方もおり西口には時計が設置されている。50周年の節目として、東口にも時計は設置するべきではないか。

市長 もし時計を提供してくれる方がいればいいという点も含め、何か考えてみたいと思います。

問 岩沼市は地の利や公共施設にも恵まれている一方で、誰しも年齢を重ねて不自由さ、不便さも感じる。施設の入り口が分かりにくい、表示が小さいなど、岩沼市の50歳が市制施行50周年と考えると使い勝手やアプローチを再確認すべき時期と考え、看板や視認性の検討を行ってはどうか伺う。

政策企画課長 交流人口増を目指す地方創生の観点からも、公共施設の表示板に関して、総合的な見直しが必要になる可能性もありますので、ぜひ研究していきます。
◎その他の一般質問
・さらなる地域防災力の向上



生理の貧困

渡辺ふさ子



問 女性の生理は人類が子孫を残すための必要不可欠な生理現象にもかかわらず、「恥ずかしいこと」という誤った認識が定着している。ジェンダー平等を達成するためにも女性の生理現象における、あらゆる負担を、みんなで共有、理解し合い、共に考えることが大切だと考える。見解を伺う。

教育長 恥ずかしいものとかは払拭していかなければならないことだと思います。自分のことは自分で話していくことが大事だと思いますので、生理の面も子どもたちが当たってほしいと思います。

問 貧困や家庭問題などの相談窓口での生理用品の無償配布チラシの配布数および保健センターでの生理用品の支給数を伺う。

健康増進課長 無料配布チラシが18枚、支給した数は3件です。

問 チラシ配布はこの課か。
健康増進課長 社会福祉協議会とDV等の窓口になっている子ども福祉課です。

問 チラシを各相談窓口で配布し、ホームページへの掲載で困っている方へ広く周知すべきではないか。

健康福祉部長 あくまでも相談や支援につなげる趣旨ですので今の配布体制を続けたいと思います。

問 学校の保健室での生理用品の利用状況を伺う。
学校教育課長 小学校で2カ月に1件程度、中学校で月に1、2件程度です。用意できないケースはなかったです。

問 文科省から生理用品の提供場所を保健室のほかに設けるなど、必要とする児童・生徒が安心して入手できるよう、提供方法や設置場所等の工夫をと事務連絡が发出されている。健康を守り教育機会を保障するためにもトイレに設置すべきではないか。

学校教育課長 保健室で必要な対応ができていますので、現在のところトイレ設置は考えていません。
◎その他の一般質問
・新型コロナウイルス対策

チラシを広く周知すべき